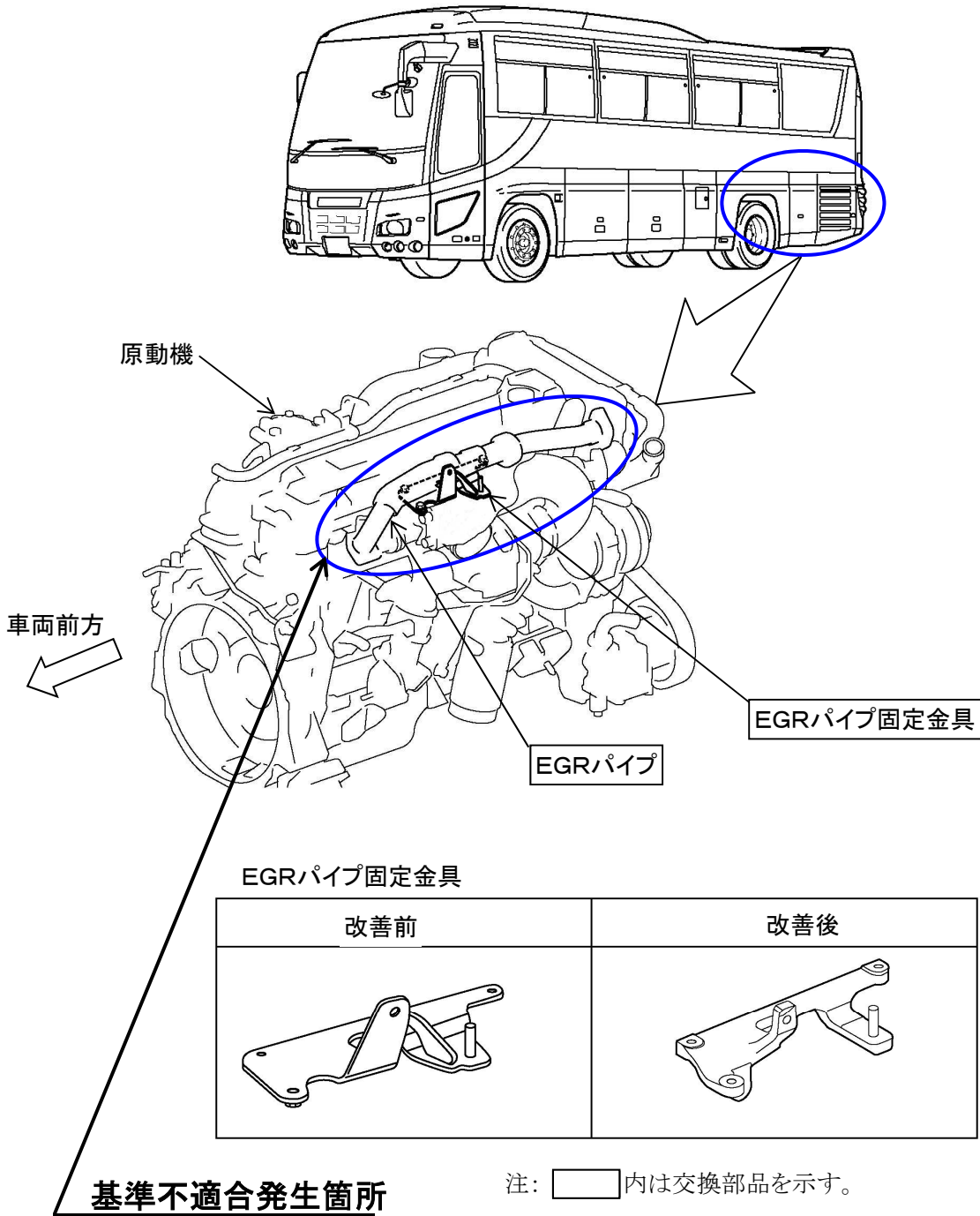


改善箇所説明図



大型バスの原動機に取付けている排気ガス再循環（EGR）パイプの固定金具の強度が不足しているため、特定の回転域において固定金具が共振して固定金具に亀裂が入るものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると亀裂が進行し、固定金具が折損することで、EGRパイプが過大な振動により亀裂が発生し、排気ガスが漏れ、最悪の場合、床の一部が焼損する、または、吸気ホースの一部が溶損し、出力が低下するおそれがある。

改善の内容

全車両、当該固定金具を対策品に交換するとともに、EGRパイプを新品に交換する。

識別： シリンダーヘッドカバー後端に白色のペイントを塗布する。